

事業所名

こども療育センターきらりん

## 支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

3 日

法人（事業所）理念		発達気になる子どもとその家族が、いきいきと自分らしく生きていける社会、またすべての子どもとその家族が、お互いののびのびと育ちあえる地域社会作りに寄与する。					
支援方針		発達気になる子どもに発達ニーズを満たす遊びを提供し、その家族の子育てを支援する療育を行う					
営業時間		10 時	45 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">なし</span>
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・排泄を含む身辺自立への支援 ・寒暖差に応じた衣服の調節に対する支援		・通所時の身支度の習慣化への支援 ・自分の持ち物を自分で管理することへの意識づけへの支援			
	運動・感覚	・高さ・揺れ・傾斜・不安定さ・スピード感など、様々な刺激を受け入れ、ダイナミックに身体を使って遊ぶ楽しさを体験するための支援 ・一緒に物を持って運ぶ、タイミングを合わせて動きながら成功させるなど、相手の動きを感じ、合わせていく楽しさを実感できる遊びの提供 ・道具操作、両手の協調動作など、手先の使い方が上手になるための支援					
	認知・行動	・集団活動の楽しさを知り、興味・関心を向け参加を促す支援 ・一斉指示を理解し行動するための支援（言葉の意味を具体化、周りの言動への関心、指示への注目を持続など） ・色、物の名前、カテゴリー、数、形、数字、文字、左右の理解、記憶、空間認知向上への支援					
	言語 コミュニケーション	・言葉以外の方法での意思表示に向けた支援 ・スムーズなコミュニケーション成立に向けた支援（相手の関心を得る、相手に伝わったかに関心进行けるなど）				・自分の意思が相手に伝わる喜びを経験できるような関わり ・思いを引き出し、言語化し、本人なりの表現へ導く	
	人間関係 社会性	・本人の好きな遊びが友達との間で成立するのを助け、共有することを楽しめるように支援 ・友達のしていることへ関心を持ち、真似したり、良いところを取り入れたり、互いにアイデアを出し合ったりできるように介入 ・感情のコントロールに向けた支援					
家族支援		支援場面を見学の上、現状と課題、関わり方についての相談援助を毎回の療育後に実施 半年に1回、個別懇談を実施（必要性があれば、適宜懇談会を実施）			移行支援		保育所等への移行について連絡調整、および相談援助を実施 （移行前、移行後）
地域支援・地域連携		在籍園との情報共有 必要性があれば、園訪問を実施			職員の質の向上		毎日の療育を振り返り、発達課題の捉え方、関り方について検討 半年に1回、全職員で支援会議を実施。お子さんの変化を捉え次の目標を設定している 各種法定研修を実施、年に数回、法人内研修を実施 外部研修等の情報提供を行い積極的な参加を促す
主な行事等		地震・火災・不審者対応・行方不明児捜索等の訓練を定期的実施 季節に応じた工作を行い（うちわ、ハロウィン、クリスマス、節分、ひな祭り等）、伝統文化や季節の変化に触れる機会を提供 「就学を考える座談会」を実施、岡崎市教育委員会より講師を招き就学までの流れや、進路決定に向けてのポイントを学ぶとともに、先輩お母さんの体験に触れる機会を提供					